

Omar Acosta Duo

フルート:オマール・アコスタ
ギター:セルヒオ・メネン

2018

10/29 [月]

18:30 開演 (18:00 開場)

豊橋市民文化会館
ホール (豊橋市向山大池町)

ベネズエラ文化週間 2018in とよはし
平成 30 年度豊橋文化祭協賛行事

オマール・アコスタ デュオ ~ラテン・フルートの大西洋~

■司会・通訳:石橋 純(東京大学教授)

入場料 1,500 円 (全自由席) ※発売開始 8 月 10 日

■チケット取扱い

豊橋市国際交流協会/オリエント楽器豊橋店/ほの国百貨店 6F プレイガイド

主催 ■ プエンテリコ・ベネズエラ

後援 ■ 駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館/豊橋市

(公財) 豊橋市国際交流協会 / (公財) 豊橋文化振興財団

問合せ ■ プエンテリコ・ベネズエラ 事務局 s_sato@mx1.tees.ne.jp (佐藤)

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。



Omar Acosta Duo

南米ベネズエラ出身で、現在はスペインを拠点として活動するオマール・アコスタは、欧州という異郷の地にあってラテンアメリカ音楽を外側から眺めてきました。そのため彼の作編曲には、ラテンアメリカ音楽のエッセンスを、初心者にもわかりやすく伝えるとともに、その奥深い味わいを損なうことなくリスナーの感性に届けることに心血が注がれています。タンゴやサルサ、ボサノヴァなど日本のリスナーにも馴染み深いラテンアメリカのスタンダードナンバーから日本では演奏される機会が稀な故国ベネズエラの音楽まで、中南米文化の世界的広がりを体感させることでしょう。《東京大学教養学部ラテンアメリカコース教授 石橋 純》



オマール・アコスタは、1964年ベネズエラ生まれ。17歳の若さでベネズエラ国立シモン・ボリバル交響楽団の首席フルート奏者に就任。以来ベネズエラならびにラテンアメリカ各地の交響楽団で活躍する傍ら、ソロ奏者として数々のリサイタルを開く。1990年代には「オマール・アコスタ・アンサンブル」を率いてベネズエラ伝統音楽を現代的な感覚で再構成する都市器楽アンサンブル運動を主導。ラテンアメリカポピュラー音楽の世界に新風を吹き込む。2000年以降スペインに移住し、ソリストとして活動を継続。2012年から16年にかけて、世界最高峰のフラメンコバレエ団であるスペイン国立バレエ団の音楽監督に就任。多くの自作曲と編曲を提供。同バレエ団とともに2度来日公演を果たしている。これまで、フルート独奏者として、世界三大テノールとして知られるプラシド・ドミンゴや日本でもなじみの深い世界的チェロ奏者ヨーヨー・マのほかジャン=ピエール・ランパル、クラウディオ・アラウ、モンセラート・カバリエなどクラシック音楽界の名だたる巨匠とも共演を重ねている。2017年より、アルゼンチン人ギタリストであるセルヒオ・メネンならびにベネズエラ人パーカッショニストのカルロス・フランコとともに、新ユニット「オマール・アコスタ・トリオ」を結成。ラテンアメリカ各地の音楽を新アレンジで全世界の聴衆に訴求するワールド・ミュージック・プロジェクトを始動している。

セルヒオ・メネンは、1975年アルゼンチン生まれ。コルドバ音楽院(アルゼンチン)でギターを学び、後に国立コルドバ大学で作曲を、米国カーネギー・メロン大学でチェロを習得。現在、スペインに在住し、スペイン国立バレエ団のチェロ奏者として活動するほか、伴奏とソロのギタリストとしてヨーロッパを拠点に活動中。2017年より、オマール・アコスタ・トリオの一員としても活動している。



これまでのエンティリコ・ベネズエラ主催 ベネズエラ文化週間 in とよはし コンサート

アンサンブル・グルフィーオ リカルド・サンバル	2007年11月 9日	豊橋市民文化会館ホール
レオナル・ハコメ&クエルダス・バホ・ブレシオン マルコ・グラナドス&ウン・ムンド・アンサンブル カラカス・シンクロニカ	2008年10月 24日	豊橋駅前文化ホール
シモン・ボリバル弦楽四重奏団 トリオ・アルデマーロ・ロメーロ	2009年11月 19日	豊橋市民文化会館リハーサル室
チエオ&ダビッド・ウルタード デュオ アンサンブル ララ・ソモス	2010年11月 6日	豊橋駅前文化ホール
	2011年11月 14日	豊橋市民文化会館ホール
	2012年10月 13日	豊橋市民文化会館ホール
	2014年11月 6日	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール
	2016年11月 13日	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール
	2017年10月 25日	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール